

都市と交通

～交通事故を減らすには～

A 4

1,問題①

現状：**中高生の自転車運転中の事故が多い**

理想的な状態：自転車事故が大幅に減少している状態



2,原因と問題点①

自転車専用の車線
が無い

通学時間帯の交通
量の多さ

若者の交通ルール
やマナーへの理解、
意識不足

3,課題①



自転車利用者と自動車運転者の双方が安全に通行できるよう

利用者の安全意識の向上と実効性のある交通環境整備をどのように進めるか



iStock
Credit: CTAN

4, 解決策の提案①

解決策として…

自転車と自動車の共存を図る



意識的な案

- ・ ヘルメット着用の義務化
- ・ 横断歩道のない場所でも自転車優先を義務化する
- ・ お互いに相手の立場を考えて運転する



現実的な案

- ・ 車通りの多いところに押しボタン付きの信号機を増やす
- ・ 交通量の多い道や通学路などには自転車専用レーンを作る
- ・ 交差点の設計を見直す
左折巻き込み事故を防ぐため、自転車を車の死角に入らせない
待機スペースを導入する
- ・ 見通しの悪い歩道にカーブミラーを設置する

5,期待される効果①



自転車利用者と自動車双方の**安全意識**が高まり、交通事故の発生を大幅に減らすことが期待される。

ヘルメット着用の義務化や自転車優先のルール徹底により、自転車側の被害軽減とルール遵守が進むと考えられる。

さらに、信号機の増設や自転車専用レーンの整備、交差点設計の見直しといった環境面の改善によって、**事故が起こりやすい場面そのものを減らすことができる。**

その結果、道路利用者同士がお互いの立場を意識しながら安心して通行できる、**より安全な交通環境の実現**につながる。

問題②

現状：高齢者の事故が多い

理想的な状態：公共交通機関の利便性が上がり、利用が増える



原因と問題点②

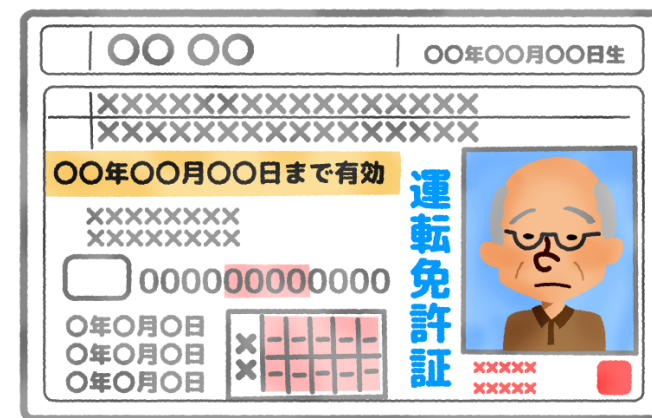
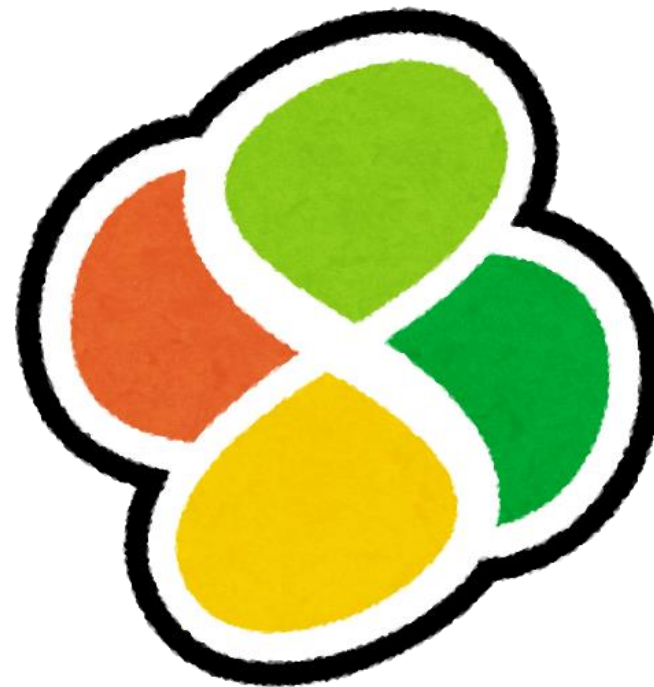
免許返納ができない

車依存社会

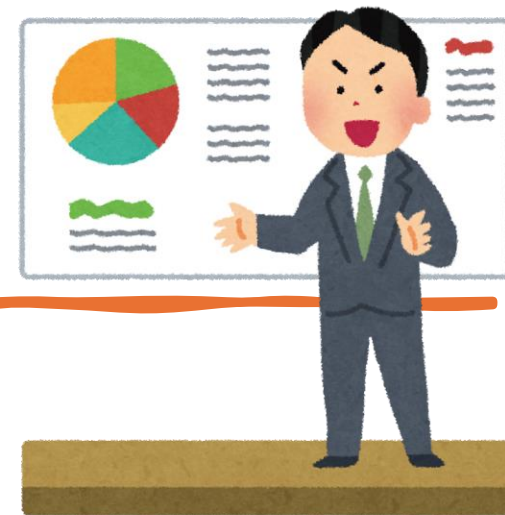
バスやタクシー運
転手の人手不足

課題②

免許返納後も高齢者が安心して移動できる環境を整え、
車依存から脱却した地域交通をどのように実現するか



解決策の提案②



解決策として…

運転に頼らず、安心して便利に暮らせる社会にする



免許返納に対する対応

- ・ 返納特典の拡充
バス・タクシーの乗車券配布やスーパーの配送料サービス
- ・ 限定免許の普及
サポートカーや走行エリアを指定した限定免許

車依存社会に対する対応

- ・ デマンド型交通の導入
固定のバス停だけでなく、予約制の交通網の整備
- ・ 生活機能の集約
病院やスーパーなどを徒歩圏内に集約させ利便性を高める

人手不足に対する対応

- ・ ライドシェアの普及
地域の一般ドライバーが有償で高齢者を送迎する
- ・ 賃金・待遇の改善
深夜、早朝、長時間勤務への手当増額

期待される効果②



運転に不安を抱える高齢者が無理に車を運転する必要がなくなり、**交通事故の減少**が期待される。

また、免許返納後も移動手段が確保されることで通院や買い物などの**日常生活の不便さが軽減**され、安心して暮らし続けることができる。

デマンド交通やライドシェアの活用により地域の移動環境が改善され、**車に依存しない社会への転換**が進むとともに**地域全体の安全性と生活の質の向上**につながる。